



## Minami-hatoba\_1(Shirouyasu\_Suzuki)

2005-04-30

「イメージフォーラム・フェスティバル2005」の初日で、「極私的に遂に古稀」上映。

29日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、特別な徳性、優れた指導とか、特別な正義感とかが必要とされる国は、それだけ駄目な国だということが書かれていた。トイレから出て、カボチャを煮始める。ストレッチ体操の後、風呂を沸かして入り、頭を洗う。日録をノートしてから、[君子蘭の写真](#)を撮ってBloxomBlogに入れる。サツマイモを蒸かし、蕎麦を茹でてざるで食べる。テレビの「はぐれ刑事純情系」をつけて仮眠。部屋が暑いので窓を開けるが、隣の工事の音が五月蠅くて閉める。3時頃仕事場に下りて、昨日の日記を灰皿町blog日記に書く。4時廻って、出掛け、社会会館前からタクシーを拾って新宿の「パークタワーホール」へ。[「イメージフォーラム・フェスティバル2005」](#)の初日、5時からの「Sプロ」を見ようと4時半に着いたらまだ開場してないので、ホールの前の喫茶店で思い付いたことをノートする。5時前に開場となり、フリーパスに貼るポラロイド写真を撮って貰って、トイレにいて席に着く。金井勝さんと村山匡一郎さんに会う。多摩美の卒業生の角南くんとも。「Sプロ・現代スイス・ビデオ展望1」は、幾つものレイヤーを使った3D風の幾つかの作品、奇妙な老女たちを描いた作品、それにシューティングゲームの実演映像の人物が開場にそのままの姿で現れてゲームのシーンを演じるというパフォーマンス。終わって、ロビーに出ると、鈴木一民さん、渡辺洋さん、長尾高弘さんが来ている。Sプロの終わるのが遅れて、次のわたしの作品があるCプロは19時50分からの上映になる。須永紀子さんが来て、わたしの隣の席に坐る。わたしの兄も来る。Cプロは「日本3」で、公募部門奨励賞の2作品と、わたしの「極私的に遂に古稀」を入れて招待作家作品が5作品。終わって、作者の舞台挨拶で、客席を見るとほぼ埋まっていたから200人弱というところか。水野勝規さんの「Tone」に惹かれた。感想としては、21世紀になって、モダニズムは当たり前になり、様式が糞のようにこびり付いていると思う。わたしも、相変わらずのやり方だからなあ、と思う。終わって、知った人、見知らぬ人、合わせて何人かの人に話しかけられる。飯田歩さんと甲州街道を話しなが歩いて、途中で別れて、「さくら水産」で一民さん、長尾さん、洋さん、それに北爪満喜さん、辻和人さんも加わって、ビールや酒で乾杯、刺身、焼き鳥、サラダなど、わたしは空腹だったので焼きうどんを頼む。11時半頃散会、タクシーで帰宅。リング、サツマイモ、牛乳。仕事場に下りて、灰皿町blog日記を書く。

01:38:24 - shirouyasu - No comments

2005-04-29

劇団「小指値」の野上絹代さんと天野史朗とビールを飲む

28日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」の「なにが美しいのか」という項目に「コー・ハ市が、労働者用の住宅を建てたとき、市はそれをレン・ティに依頼した。そこでかれは、いっさいの装飾をはぶいて、居住者のあらゆる必要に配慮した家屋を建てた。労働者たちが引っ越してきたが、まもなくレン・ティは、かれらがその住宅にたいへん不満であることに気づかされた。その住宅は、かれらには、とうてい美しいとはおもえなかったのだ。レン・ティは怒って叫んだ??とんでもない、この住宅は美しい。」と。プレヒトは機能主義には否定的のようだ。ストレッチ体操はしないで、BloxomBlogに[枯れた牡丹の花の写真](#)を入れて、「科学の事典」の「NAMI」の項目を読んで講義の為のノートを取る。12時過ぎに、坂に下でタクシーを拾ってきて、わたしの著書「映画素志」を28冊積んで多摩美へ行く。運転手さんが研究室まで本を運んでくれる。食堂できつね蕎麦。事務で70歳になって

### Navigation

[Previous 月](#)  
[Next 月](#)  
[Today](#)  
[Archives](#)  
[Admin Area](#)

### Categories

[All](#)  
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

### Search

申請する共済年金の手続きについて聞くが係がないので後日ということになる。階段を下りると、約束した卒業生の坪田義史君が来て、一緒に研究室に行って彼のドキュメンタリー作品を見て、いろいろと話す。3時から映像演劇学科の会議。来年の入試要項の検討。6時前に食堂でハヤシライス。一日に2度食堂で食事したのは多分初めてのこと。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業で土本典昭さんの「路上」を見せて、社会イメージという話し。研究室で、この授業を取っている学生に「映画素志」を上げる。7時40分から「空間表現研究B」でノートを元に「波動と表現」の重なりを話す。光も音も波動であり、特に「縦波」の現象が表現の受け手への伝わり方の重なるように思えるという話し。授業後、研究室で3年の山本祐輔君に彼らの映像作品「ユーマッサー!!!!!!」についていろいろと話す。加納さんの研究室に卒業生の劇団「小指値」の野上絹代さんと天野史朗が来ているという伝言があって、行って彼らの5月公演の「[My Name Is I Love You](#)」の話しをする。その後、彼らと加納さんと上野毛駅近くの「ナセヤ」に行きビールを飲んで話しをして、12時過ぎに、三茶まで加納さんと野上さんを乗せてタクシーで帰宅。リンゴと麦田もちと牛乳で夕刊を読んで、直ぐに寝てしまった

15:58:04 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-28

「曲腰徒歩新聞」を、4月になって、今ごろ初めて更新する。

27日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」の項目は「頭脳労働者は自由をどう理解しているか」というのだった。「頭脳労働者が売らなければならなかった商品は、意見と知識であった。」と書かれて、その自由競争のことが書かれていた。そういう風に割り切れないようにも思えるが。ストレッチ体操、シャワー。日録をノートした後、昨日、津ヶ谷さんが送ってくれた大根とタマネギをあぶらげと煮干しを入れて煮る。蕎麦を茹でてざる蕎麦で昼食。「曲腰徒歩新聞」用にカタバミを撮る。それを入れて殆ど一ヶ月ぶりに「曲腰徒歩新聞」の記事を書き始める。テレビの「はぐれ刑事純情系」をつけて、ちょっと仮眠。仕事場を下りて記事に区切りをつけて、出掛けて、半蔵門線で錦糸町に出て、JRで一つ戻って両国のシアターXに「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のビデオを3本届ける。上田さんに新しく入れた日本語のクレジットを見て貰う。上田さんはエレベータまで送ってきてくれる。JRで新宿に出て、小田急地下でヒレカツと、カボチャの煮付けの材料を買って、タクシーで帰宅。一人で夕食。またちょっと仮眠。仕事場を下りて、[「曲腰徒歩新聞」の記事を書き、「ルティ・カネルさんの演出」の文章をつけてアップする。](#)それから、多摩美の3年の山本祐輔君が持ってきた昨年のビデオ作品「ユーマッサー!!!!!!」を見る。途中、横浜市立大の鈴木さんから頼まれた講義の打ち合わせの電話。リンゴを食べ、「麦田もち」を牛乳で食べてから、山本君のビデオの後半を見る。そして、この灰皿町blog日記を書く。

01:48:37 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-27

二日分のblog日記を書く。

26日のトイレ読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「純粹芸術について」という項目で、詩人が「降りそそぐ雨だれの音を、読者のたのしい体験にしようという課題を自分に課したのだが、」「屋根もない、眠ろうとするときにも、雨だれが襟と首のあいだに落ちてくるというようなひとびとのためにも、たのしい体験になるようにする必要のあることに気づいたのだ。このような課題をまえにして、」詩人は「恐れをなして、ひっこんでしまったのだ」ということが書かれていた。自分勝手に詩を書いているわたしには縁遠い話しだが、引っ掛かるところもある。ストレッチ体操、シャワー。[牡丹の花が崩れてきたところ](#)を写真に撮ってBlosxomBlogに入れる。それから、[「Shirouyasu\\_Haizara」](#)のページにその

### Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



BlosxomBlogのリンクを付ける。その後、蕎麦を茹でてざるにして昼食。ちょっと仮眠して、昨日書いてあった一昨日の「灰皿町blog日記」を書き足してアップ。更に昨日のことを書いてアップする。しかし、カレンダーの上で「25日」が一日空白になってしまった。カレンダーを埋めようと思っていたので気になる。日記を書いているところに、多摩美でママさん学生だったが、年老いた母上の世話をするためにこの3月退学して名古屋に帰った津ヶ谷さんから、その母上が作ったという野菜と亡くなった父親が植えたという石楠花がボール箱で送られて来た。日記を書き、アップして出掛けようとする、まだ送ってまかった5通の招待状の封をして切手を貼る。4時前に出掛ける。地下鉄で二子玉川まで行って、下りて、白身魚のフライのホットドッグを二人分買って、タクシーで多摩美に行く。5時過ぎに海老塚さんが来て、若い絵画作家のことを話しながら、一緒にホットドッグを食べた。3時限、FT・Bコースで海老塚さんが講義をしている間、わたしはコンピュータ室で2年生の杉山さんにHPの作り方を始めから教える。その時、わたしが作った「[楽しいホームページ作り方](#)」のサイトを参考にしたが、中途半端だと実感した。4時限の後半、海老塚さんから時間を貰って、作品制作の「企画書」を書く際、発想の端緒を出来るだけ具体的に書くように話す。10時近く下校。田園都市線、地下鉄で帰宅。リンゴ、サツマイモ、煎餅など食べ、牛乳を飲みながら夕刊を読む。電車事故の原因を巡る記事が出ている。そして仕事場へ。メールを書いて、津ヶ谷さんが送ってきた[石楠花をテーブルに置いて撮った写真](#)をBlosxomBlogに入れてから、灰皿町blog日記を書いた。

01:35:30 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-26

セミナーハウスに合宿2日目。夜は上野毛で講義。

25日の朝、目が覚めたのは7時過ぎ。8時に学生と教員全員で朝食。後片づけ、掃除。9時半に集合するまでの間、わたしたち教員は車に分乗して、セミナーハウスの近くの富士の湧き水の忍野八海に行き、そこから富士山を見た。全員集合では、福島学科長が挨拶、一番年を食っているわたしが一言、とにかく濃密な関係を保ちながら互いに表現意欲を盛り上げて欲しいと述べて散会した。10時過ぎ、わたしは、大平君の車に清水教授と萩原教授と同乗して、中央高速を経て東京に向かった。途中渋滞もなく12時頃東京に着き、高井戸で萩原さんを下ろして、家まで送ってもらった。帰宅して、お茶など飲んでテレビを見ると、JR西日本の電車の事故が報じられていた。落ち着いてから、

[忍野で撮った富士の写真](#)をBlosxomBlogに入れて、昨日やりかけていた「極私的に遂に古稀」の招待状を入れた封筒の封をして、切って貼った。そしてちょっと仮眠して、灰皿町blog日記をノートして、4時を廻って家を出て、駅の近くのポストに投函して、地下鉄で多摩美に行った。上野毛のさくら庵でざる蕎麦。久しぶりに店のデリバリーボーイのかっちゃん最近のパソコンの話をした。多摩美に行って、6時からFT・Bコースで、「作品」ということ、「表現者のイメージ」ということの話をした。作品と商品との微妙なあり方、記号の集積である作品ということ、など。9時半から、卒制の担当を希望する学生を集めて、卒制のやり方について、主にスケジュール展開をしっかりとって欲しいということなど話す。10時過ぎて、加納さんと木村さんと下校。上野毛駅近くの「ナセヤ」で1年生の合宿の引率をした木村さんを慰労した。12時頃タクシーで、三軒茶屋まで加納さんを送って帰宅。もう眠くて、リンゴ、牛乳、サツマイモで夕刊の事故の記事を読んでから寝た。

15:26:07 - shirouyasu - No comments

多摩美富士山麓セミナーハウスに映像演劇学科1年生と合宿。

24日の朝、トイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「特別な徳性を生みだす国々について」というタイトルで、「ある船が英雄的な水夫を必要としている、と聞いたら、それは老朽化したボロ船ではないかと、わたしは疑うだろう。それぞれ

が二人分の仕事をしなければならぬとなれば、その船会社は破産に近いが、金持になろうといそぎすぎているか。もしも船長が天才でなければならぬのであれば、その船の計器類はおそらく当てにならないにちがいない。」という例を国に当てて書いてあった。「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の中にもアンナが総司令官が手柄を立てた息子を「優秀な兵士」だと褒めるの聞いて、「あの司令官は、絶対にいくさ下手だね」というところがある。ストレッチ体操、シャワーの後、「極私的に遂に古稀」の招待状の封筒をプリントして、招待状とプログラムを折って封筒に入れる。そこで、1時半になったので、海苔茶漬けを掻き込んで、合宿に行く支度をする。映像演劇学科1年の合宿で山中湖近くの多摩美のセミナーハウスに行くことになっている。2時前に助手の大平君が来るまで向かえに来てくれて、同乗して成城学園前駅に行く。そこで、清水邦夫教授を乗せて、東名で御殿場を下りて、山中湖近くの富士山麓セミナーハウス「純林苑」に行く。道路が空いていて、1時間余りで着いた。6時から全員で夕食の筈が、10人余り散歩に行ってみらない。7時から、1年生全員と教師が相対して、教員一人一人が自分の「表現について」の考え方を10分ぐらいずつ話す。最後にわたしの番になって、「波動について考えているけど、それは話さない」といって、次に「定年間で、最近カボチャの煮付け、、、」と言いかけて、自分でおかしくなって笑ってしまい、笑いが止まらなくなって、1年生全員が笑ってしまう。わたしの表現の話は。デジタル化していく現在の表現のあり方を考える必要があるということだった。この「灰皿町blog日記」をやっていることも話す。終わった後のミニパーティで、先ほど「カボチャの煮付け、、、」と笑ってしまったのが受けて、男子、女子の学生とも話が弾んだ。部屋に戻ると、学生たちに部屋で話したい者は来るようにと副手の木村さんに伝えて貰った。入れ替わり立ち替わり何人もの学生が話しに来て、午前2時近くまで話しをした。入学試験の創作の作品の中のわたしが覚えているものの感想を、回答したその学生に話すと嬉しがるので、そこで一つの交流が生まれたようで嬉しかった。しかし、憶えてない者には何も言えず残念だった。特に、自己推薦入試では、寄せられた作品と回答を返送する時に、学科としての評価を同封していたのが喜ばれていることが分かった。また、社会人入試の大谷君が自分の経てきた人生と敢えて大学でもう一度学ぼうとしていることを、高校を出たばかりの学生に話して、熱心に聞かれている姿は好感が持てた。なるべく学生の名前を覚えようとしたが、なかなか憶えられない。でも、寝る間際までわたしの部屋に押しかけてきて、布団を敷くのを手伝ってくれた田山君と橋本君は記憶に残った。布団に横になると直ぐに眠ってしまった。

14:58:00 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-24

多摩美の映像演劇学科の一期生の結婚披露宴に行く。

23日のトイレで「転換の書 メ・ティ」を読んで、ブレヒトの関心はロシア革命の展開とそこでの人間の振るまいに向けられていて、その人間の振るまいというものが彼の演劇を作っているということがだんだん分かって来たという感じがした。今日はストレッチ体操をしないで、10時に家を出て、坂の下でタクシーを拾って明治記念館へ。井の頭通りがひどい渋滞なので富ヶ谷駅前を廻るの細い道を案内して、山手通りの交差点を回避する。多摩美の映像演劇学科の前の2部芸術学科時代の一期生の結婚披露宴に行く。数年前に定年で辞められた品田雄吉さんに久しぶりにお会いして、話しをした。わたしは会場となった明治記念館は始めてだった。笑いあり涙ありの結婚披露宴だった。帰りは、新宿までJRで行き、小田急地下で惣菜の焼き魚を買ってタクシーで帰った。ちょっと仮眠して、枯れた水仙を外に出し、蕾のついた芍薬の鉢を家の中に入れた。それから、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のVHSテープのダビングをした。「極私的に遂に古稀」の案内状を書いて、「差し込み印刷」をしようとしたら、何かうまく行かない。7時過ぎ、一人がかぶのみそ汁を作ってイカの焼いたのとカボチャの煮付けで夕食。またちょっと仮眠。差し込み印刷が何とか出来て、リンゴ、柏餅、サツマイモ、牛乳。再び仕事場

に下りて、灰皿町blog日記を書いた。

00:51:55 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-23

「極私的に遂に古稀」を完成させ、イメージフォーラムに持って行く。

22日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「メ・ティは、ぼくらの友人アン・ツェの死にかたに感心した。かれは死とむきあいながら、二、三のやさしい代数の問題にとりかかった。それを解きながら、かれは死んだ。」と書いてあった。格好いい死に方と思った。さすがプレヒトという感じ。ストレッチ体操を始める前にカボチャと牛蒡と菜隠元を煮始める。シャワーの後、日録を書いて、それから昨夜書かなかった灰皿町blog日記を書いた。時間が掛かり、書いている途中でカボチャと蕎麦の昼食。食後、直ぐに書き継いで、3時過ぎに終わる。それからちょっと仮眠。仮眠しているところにイメージフォーラムの澤さんから電話があって、「[イメージフォーラム・フェスティバル2005](#)」で上映する「極私的に遂に古稀」の作品のテープの催促だった。丁度今日持って行くつもりだったので、夕方頃持って行くことに応えた。それから、仕事場に下りて、Final Cut Pro HDを開いて「極私的に遂に古稀」のタイムラインを一度流して見て、音楽が足りなかった部分をチェックした。そこに、今朝起きたときに思い付いた音楽を付けて行って、5時頃までに終わり、先ず一本書き出した。それから、それをDVからDVにコピーして、ラベルを貼って、2本のDVテープをイメージフォーラムに7時頃タクシーで持って行って、澤さんに渡した。富山さんが一緒に見よう言ってくれたが、麻理と夕食と一緒に食べることにしていたので断って、宮益坂の「オフィスデポジット」で婚礼の祝い袋を買い、東急本店まで歩いて、地下で柏餅とオリーブの缶詰と蜂蜜を買ってタクシーで帰宅。ハンバーグとカボチャの煮物とみそ汁で麻理と夕食。9時のNHKニュースをベッドで見て、続けて時代劇「柳生十兵衛七番勝負」を見た。また仕事場に下りて、「極私的に遂に古稀」の自分の分を書き出して、BlosxomBlogに[山吹の散った花びら](#)をアップして風呂に入る。居間でリンゴ、柏餅、煎餅、牛乳。それから灰皿町blog日記を書いた。

01:35:14 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-22

ほしのさん、石井さんと映像演劇学科の「映像の教育方針」について話し合う。

21日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」の「昔、ある男の抱いた理想」という項目は、「みんなが動転しているときに、冷静であること。みんなに疑われているときに、自分を信頼すること。しかし、かれらの疑念を許すこと。待つことができ、そしてそれに疲れぬこと。嘘をきかされてもその嘘の片棒をかつがないこと。」と書き始められ、「儲けのすべてをつぎ込んでひと財産とすることができ、それを一か八か賭けてみる。そして失敗し、そしてはじめからやり直し、そしてその損失にひとことも触れないこと。」で終わっている。プレヒトの劇の主人公を思わせるところがある。ストレッチ体操、シャワーの後、今日の授業の「ドキュメンタリー映画論」で、「現実」ということを話すために、中国の反日デモのことに触れようと思い、歴史年表とWebで、「五四運動」と「南京大虐殺」についての概要を調べる。12時半廻って出掛けて、上野毛のさくら庵でざる蕎麦。2時から研究室でほしの教授と石井助教授とわたしとで、映像演劇学科の「映像の教育方針」について話し合った。映像の表現ということは、作品の企画を立てるところから始まって、実際にカメラを使うにしても編集をするにしても、そして発表する段になっても、身体をどう動かせるかということであり、そして、その行為を自覚させるために必ず批評することによって、表現意識が確かなものになって身に付く。これを基本的な方針にするということを確認した。ストーリー映画、アニメ、ドキュ

メンタリー、様々な展示場での上映、Webなどなど、映像表現の幅が広がっている。しかし、いずれにしろ人の心を捉える映像でなければ表現として成り立たないわけ。そして心の捉え方にはいろいろあり、そこで映像表現を教育するには、教師と学生の濃密な関係が求められる、というようなところまで話したあった。4時に、来年入学を希望する女子高校生がひとり映像演劇学科の内容を聞きに来たので説明する。彼女は現在イギリスに留学中で、「自己推薦入試」で受験したいということだった。五時半過ぎに食堂でハヤシライス。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業。人はものを見ているつもりで実は見てない、インクプロットの不定形な図を、文明人は大まかに人の顔と見るが、子供やアフリカの未開の人は細部にこだわりいろいろな動物を見つけるといった心理学の実験から、その見てないということの説明する。そして、人はイメージを学習し、記憶する。その現実のイメージを作る一つがドキュメンタリーというもの。中国の人に取っての日本というイメージ。「五四運動」や「南京大虐殺」の記憶。中国人と日本人に取ってのそのイメージの違い。7時40分から「空間表現研究B」。表現の波動性ということ、花が動物や昆虫を引き寄せ、受粉して、実を実らせるというような生命の働きは、どこか、人間の表現に似ている。表現は心を動かさせるということで多くの人を集める。そういうことは一種の波動性として考えると面白いのではないか、という話し。授業が終わってから、加納さんの研究室に「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のビデオテープを持って行き、研究室に戻ろうとしたら、3年の大高さんと田川さんに呼び止められて、B棟の3年生のコンパに誘われ、参加。缶ビールで乾杯。栗原君が、これもblogに書くのでしょうかと笑う。丹原さん、塚本さん、馬場さんなど女子学生と話して、10時廻って退散した。加納さんと下校して、上野毛駅のホームで4年の松岡さんと穴戸さんと一緒になって、田園都市線に乗り継いだ。帰宅して、リンゴ、サツマイモ、草餅、牛乳で夕刊を見る。そして眠くなって、灰皿町blog日記は書かないで寝た。

15:07:56 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-21

シアターXに「母アンナ・Fとその子供たち」のビデオを持って行く。

20日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「飲酒について」という項目で「公共の福祉のため、なにをするつもりかと質問されて、しどろもどろにしか喋れない。きみらがご存じの、しらふにさせる飲み物のほかに、どうしてわれわれは酒など飲む必要がある。」と書いてあった。現実問題で訳が分からなくなっている、つまり酔っているようなもので、それ以上に酔うことはない、というわけかしら。ストレッチ体操、シャワーの後、日録を書いて、庭の牡丹の花が咲きかけていたのでそれを撮って、BlosxomBlogに入れる。雨が降ってくる。1時過ぎにネギ蕎麦で昼食。2時ちょっと前に出掛けて両国のシアターXへ。DVで撮った「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のビデオにタイトルとローマ字のクレジットをつけてVHSにダビングしたカセットを3本届けた。上田さんに渡して、頭と終わりを再生して見て貰った。吉田日出子さんにも上げたいので、日本語のクレジットタイトルが入ったのをほしということなので、後でまたダビングして持ってくると約束する。公演は評判がよくて大阪でもやって欲しいという声があるという。それから現在劇場の舞台を使ってやっているロシア人の俳優トレーナーのワークショップの様子を話して貰う。敵しいらしい。マネジャーの上田さんとは1時間半ぐらい話してしまった。4時半頃退出して、新宿で下りて、ヨドバシでVHSのカセットを買い、小田急地下でヒレカツと、みそ汁の具にするかぶを、それからまたカボチャを煮ようとカボチャと牛蒡も買う。柏餅も買った。タクシーで帰宅。みそ汁を作って、テレビのニュースを見ながら一人で夕食を食べていると、お祖母ちゃんの部屋の整理に行っていた麻理と野々歩が帰ってきて、一緒に夕食。それから、FinalCutで日本語のクレジットを作りながら掛かる。字を間違えたりして何度もレンジリングしたので結構時間が掛かり、11時近くまで掛かる。居間に行ってリンゴ、柏餅、牛乳。仕事場に下りて、もう一度見ると「千田是也訳」の「訳」の字を落としていたのを発見

して、書き入れてレングリングのやり直し。それを、マスターテープに書き出してから、灰皿町blog日記を書いた。

00:27:42 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-20

多摩美上野毛キャンパスの八重桜を魚眼で撮影。

19日の「転換の書 メ・ティ」には、「個々人もまた歴史を持つ」というタイトルの項目で、「諸国民がそれぞれの歴史を記述することにどんな効用があるかは、よく知られている。個々人がそれぞれの歴史を記録することにも同じ効用がある。メ・ティはいった??だれもがじぶん自身の歴史記述者であってほしい。そうすればもっと注意深く、より高度な要求をもって生きるようになるだろう、と。」と書いてあった。現在では、個々人が自分の歴史を書くということはやや当たり前になった感があるが、メ・ティの結論のようになったかは疑わしい。自分の歴史を書いても目的意識が曖昧だからだろうか。ストレッチ体操の後、風呂に入り、頭を洗った。そして、洗濯物を干す。[カタバミの花](#)の写真を撮ってBlosxomBlogに入れる。「Minami-hatoba 1」をYohoo検索したらblogリンクの他に「関西汽船」の乗り場案内が出てきた。現実の波止場と並んでいる。それがWebというものなのだろう。そして、モヤシとネギと煮干しを入れた蕎麦で麻理と昼食。眠くなって、30分ほど仮眠。[上野毛キャンパスの桜](#)を撮影しようと思い立って、3時前に家を出て、二子玉川で下りて、サンドイッチとソーセージ入りのパンとコーヒーを二人分買って、タクシーで多摩美へ。もう校舎の陰に入った桜を先ず魚眼で撮影して、それからDVカメラで広報の人たちが撮影しているところから撮影し始めて、花のアップをじっくりと撮る。撮影していると卒業生の富貴塚悠太が、石井茂先生に用があったとやって来る。それからまた魚眼で撮影。更に、魚眼では校舎の他の場所も撮影する。頭の中には、今年で定年という思いと、10月にやる今年の写真展はキャンパスの写真にしようかという考えが働いている。研究室に戻ると、今日FT・Bコースの講義をする海老塚さんが来て、話しをしながら一緒にサンドイッチを食べる。6時過ぎて海老塚さんが授業に行った後、今日は「卒制企画」の締め切りの日なので、4年の清水君と住吉さんと後から日高さんが来て、卒制の担当を清水邦夫先生にするか、わたしにするか迷っているという。演劇をやりたいというから、それなら清水先生決まっているという、映像も撮って入れたいので、わたしならいいのでは、というのだった。わたしとしては担当は誰でも、台本を書く方が先だといった。清水君たちが去った後、清水先生が、25日の1年生の合宿に行くことになったので、一緒に行きましょうと話しに来た。その後、3年生の山本君が来て写真と映像の話をした。それから、カウンターのところ、わたしを卒制の担当に選んだ小林さんと3年生の時の作品について話しをした。10時廻って加納さんと下校。車内で4年生になって1年生の頃とはすっかり変わった学生たちのことを話して、三軒茶屋で別れた。帰宅して、リンゴ、箱の中の最後のきんつば、サツマイモ、牛乳で夕刊を読んだ。それから仕事場に下りて、灰皿町blog日記を書いた。

01:15:38 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-19

FT・Bコースで「表現について」の講義。

18日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「エゴイズムとは、どうたたかたらいいのか? 国家は、個人の利益と公共の利益とのあいだに相違がないように仕組まれていなければならない。フ・イーの国家のように悪く仕組まれた国家では、エゴイズムはいささか怖いものとなる。よく整えられた国家においては、エゴイズムは公共に役立つものとなる。」と書かれていた。こういう文章を読むと、ブレヒトのという言葉の身振りというものが政治と結びついたところから発想されているのが感じられる。つまり、身振りというのが、政治的倫理というように思え

る。ちょっと分かり難い。ストレッチ体操はしないで、8時45分に出掛けた。多摩美の研究室に着いて、健康診断の説明書を読んだら、朝食を食べてはいけなかったのだが、食べてきてしまったのだった。採尿した容器を持って受付に行き、朝食を食べたというと、血糖値の値がちょっと上がるでしょうということだけのことだった。聴力、胸部レントゲン、身長、体重、視力、心電図、採血、問診と順に受けて終了。体重だけが前年から5キロ余り減っていた。後は、夕方まで暇になる。福島学科長と加納教務主任と、FTの学生の選択状況の数を基に学科のことを話し合う。その後、上野毛駅近くのさくら庵に行ってざる蕎麦を食べた。店の主人から長野から送ってきたというリンゴを3個貰った。夕食の鰻弁当とアサリのみそ汁と、のど飴をコンビニで買って研究室に戻る。3年の神谷さんの小説を読む。それから、ブレヒトの演劇についてちょっとメモしようとしたら、4年の中村さんが来て卒業までに詩集を作る話をする。5時半近く研究室で鰻弁当を食べる。ママさん学生だった津ヶ谷さんが退学の挨拶に来て、これから名古屋に帰るという。6時から201の大きい教室でFT・Bコースの年間スケジュールなどの説明した後、「表現について」の講義をした。自然に流れる時間を意識の中に取り込むという倒錯が表現として文明を生んでいくということ。また、その時間を対象にする主体としての表現者ということ。その表現者が歴史を担えば国家的な表現となり、芸術を担うと個人的な表現となるなどということも話す。車窓風景を暗記するなんてことを昔やったとか、中国の反日デモは最近の政府関係のあり方が右傾化していることへの敏感な反応ではないかとか、国というものは別に個人個人が人として生きていることの確認から考えた方がいいのではとか、大衆社会に生きるものとしてはっきりと自分の発言を持たなければ、存在を得られないとか、そんなことも交えながら話した。ニコマ弱の時間を話したので、疲れた。研究室に戻ると、八巻君ともう一人が、卒業生のアフターエフェクトを使った作品を見せてくれと来たので、DVDに焼いて貰った尾崎君たちの作品を見せた。それから、3年の矢田さんがきて映画制作の相談に乗った。そこに卒業生の渋谷のりこさんが来て彼女の作品の「バンビボーンBAMBI BONE」が「[ぴあフィルムフェスティバル\(PFF\)](#)」に入選したから見に来てね、と挨拶に来た。10時廻って下校。上野毛から三軒茶屋まで4年の井上さん、福村さん、二宮君と楽しく話して、三茶で手を振って別れた。帰宅して、さくら庵で貰ったリンゴを食べ、牛乳ときんつばとサツマイモで夕刊を読んで、仕事場に下りて、会沢(旧姓奥野)雅子さんに結婚おめでとうのメールを出して、この灰皿町blog日記を書いた。

01:04:29 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-18

「ルティ・カネルさんの演出」という文章を書く。

17日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、ヒットラーの犯罪(ファシズム)の理性といって、国民の立場を利するところがそれだったと述べられていた。そして次に「秩序と無秩序」というタイトルで、「フ・イーの命題<公益ハ私益ニ優先スル>は秩序のようにみえる。が、それは最高の無秩序である。」とあった。フ・イーはヒットラーのこと。つい、反日デモとも考え合わせてしまう。ストレッチ体操とシャワー。その間にサツマイモを蒸かす。仕事場に下りて、昨日マスターテープを作った「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のダビングをする。VHSのカセットのラベルを貼ろうと、「ラベルマイティ」で印刷する用紙を探したが見つからないので、部屋を片づけた野々歩に電話したがいない。80分のminiDVテープ2本から180分のVHSテープにダビングする。その間に、シアターXから頼まれたルティ・カネルさんの演出について文章を書き始める。稽古から公演までのわたしの見たところ書く。2時廻ってモヤシを入れた蕎麦で昼食。食器を洗ったついでに、カボチャを切って、牛蒡の皮をむいて切り、グリーンピースと一緒に煮た。このカボチャの煮物はもう得意になった。ずっと文章を書き続けて、5時廻って、パルクエに行って夕食の惣菜にメンチとコロッケを買ってくる。文章を3分の2書いたところで、7時になって夕食しようと思ったら、ご飯を炊いてないの気がついて



急いで炊く。8時なるところで炊けて、食べ始めるところに麻理が帰ってきた。彼女は食べてきたという。「義経」を見ながら夕食。その後ちょっと仮眠。10時頃仕事場に下りて文章を書き継ぐ。12時頃書き上げて、リンゴとサツマイモと牛乳で一休み。それから訂正して、メールでシアターXの家入さんに送った。その後、[ジャズミンの蕾](#)の写真をBlosxomBlogに入れてから、灰皿町blog日記を書いた。明日は多摩美の身体検査だ、早く行かなくちゃ。

01:33:40 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-17

「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のDVテープのダビング作業。

16日に読んだ「転換の書 メ・ティ」には「妻が夫に不実なのは、公序良俗に反するのか」という問いで始まり、「思うに、われわれの国では、すべてが不道德だ、姦通も結婚も。」という結論で終わっていた。婚姻関係を性器の所有の問題として捉えて、部屋の貸し借りを例にして話しが進められていくところは、時代を感じさせられた。ストレッチ体操とシャワー。仕事場に下りて、「灰皿ネット・ゲストブック」を見たら、昨夜、「そうそう」など重複する語の表記に、平仮名の「く」の字を長くした書き方があるが、パソコンのワープロでのその表記の仕方を教えてほしいと書き込んで置いたら、清水哲男さんの書き込みがあった。「く」の字を縦書きで長くするには、EgWord最新版などを使って、[コード表からUnicode3033と3035とを組み合わせれば](#)できます。」ということだった。これは、多摩美の4年生の清水大輔君から聞かれたことだった。早速、MacのWordで試みたが出せなかった。Macでは他にPhotoshopとIllustratorで試みたが駄目だった。WindowsXPのWordでは出来た。その後、[庭の君子蘭の蕾](#)を撮ってBlosxomBlogに入れる。それから、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のDVテープをVHSにダビングする作業に掛かる。先ず、メインタイトルとクレジットタイトルをFinal Cut Pro HDで作って、それを新しいDVテープに書き出し、その後に劇場で撮影したテープからリレコして、先ず休憩までの全般のマスターテープを作った。それから後半のテープを別のテープにリレコして、その最後に役者、スタッフのクレジットを入れて後半のマスターテープを作った。兎に角上演時間全体で2時間10分余りの舞台なので、リレコするだけでも時間が掛かる。頭のタイトルを作ったところで昼食。それを修正して、クレジットタイトルまでを作ったところで、4時過ぎに出掛けて、タクシーで新宿の「Comtemporary Photo Gallery」まで行って、多摩美の4年生の山口裕二君の個展「触れられない世界」を見た。9階建てのマンションの屋上から中央線沿線の住宅街を大判のカメラで撮って大きく伸ばした写真。昼間なのに住宅街は人影が見えない。30分ぐらい話したりして、そこから伊勢丹に行って、地下でパンツと靴下とハムと焼き魚とリンゴとイチジクを買い、新宿通の人混みの中を歩いて、西口に抜けるガードを久し振りに歩き、「さくらや」でダビング用に180分のテープを買ってタクシーで帰宅した。人混みでちょっと目眩を感じた。井の頭通りと山手通りとの交差点が渋滞していてなかなか進まなかったのも、運転手さんがそこでメーターを切ってそれ以後の料金を負けてくれた。帰って、やはり帰ってきたばかりの麻理がみそ汁を作って、焼き魚と昨日の肉じゃがとで夕食。その後、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の、やり直しのリレコを始めて、巨人ヤクルト戦の中継をつけたまま仮眠。前半のリレコに引き続いて後半のリレコをし、リレコが終わって、それをマスターにしてVHSテープにダビングした。終わったら1時半を廻っていた。それから灰皿町blog日記を書いた。

02:13:27 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-16

「極私的に遂に古稀」にナレーションと音楽を付ける。

15日の「転換の書 メ・ティ」には、メ・ティと弟子の関係について、わたしから

すると妙な感じの話が書かれていた。弟子を思いやり、弟子からも信頼されていたメ・ティがすっかり別人になって、突然、弟子たちを疎んじるようになり、やがてメ・ティの教室が閉じられてしまうという話なのだが、ずっしりと重い感じを与える。この話しの中のメ・ティの変化とは何か、という疑問が残った。ストレッチ体操、シャワー。おばあちゃんのところから貰ってきた電気炊飯器が汚れていたのを洗い、うまく炊けるかカップ一杯の米を炊いてみる。ちゃんと炊けたが、水が少なかったのか、ちょっとぼろぼろ。家の炊飯器でもぼろぼろになるから、米が悪いのかも。その後、[昨日多摩美で撮った八重桜](#)の画像をBlosxomBlogに入れる。2枚入れるのちょっとまごつき、何度かやり直す。それから、13日の水曜日に録音したナレーションを「Sound It!」でPowerBookG4に取り込んだ。そこで、炊いたご飯とマグロの切り身をフライパンで焼いたのと豆腐のみそ汁で、麻理と昼食。食後、ナレーションをタイムラインに置いて行く。テープに書き出す。3時過ぎて、パルケへ買い物に行き、トマト、ジャガイモ、レタス、ニンジン、ほうれん草、サツマイモ、糸こんにゃく、煮干し、豚肉、カボチャ、牛蒡、グリーンピース、ハムなどを買った。買ったものを籠のままレジにちょっと預けて、パルケの別の店に行ってお米を買う。棚にあるのはどれも「こしひかり」なので、「新潟」と名が付いたのを買った。米を自転車の荷台に付けて、その他のものを前の籠に入れて帰った。それから、肉じゃがを煮て、ほうれん草を茹でた。夕刊を見てから、仕事場を下りて、今度は音楽ファイルを作る。見木久ヲ君が作った曲を画面に合わせて聞いてみて、Sound Itで適当に切って新しくファイルを作っているところに、隣の子のベビーシッターに行っていた麻理が帰って来て、みそ汁を作って、肉じゃがとほうれん草で夕食にした。食事中にナレーションの入ったタイムラインを書き出す。食後、それを見る。それから寝室のベッドでちょっと仮眠しながらNHKの時代劇をちらちら見る。10時廻って仕事場を下り、今度は、タイムラインに音楽を貼り付ける。11時半頃一応終わる。居間に行って、テレビのニュースを見ながら、リンゴとサツマイモときんつばと牛乳。また仕事場を下りて、ナレーションと音楽が着いたものをテープに書きだして、試写する。「極私的に遂に古稀」の編集が一応出来たというわけ。この後、また試写して手直しをする予定。それから灰皿町blog日記を書いた。

02:06:33 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-15

「極私的に遂に古稀」に音楽の配置を試みる。

14日の「転換の書 メ・ティ」には、「抜け目ない男の生涯」が書かれていた。勉強もろくにしないでいい点を取った少年時代から、抜け目なく振る舞ってお金を貯めるが、革命時に彼に騙された男からピストルで撃たれるが、撃たれる寸前に指輪をはずして呑み込んだという話。ストレッチ体操、シャワー。日録ノート。4年生の中村さんの卒制に相談のメールに返事。その後、「極私的に遂に古稀」の音楽を、映像を流してシーンシーンで合わせてみる。幾つかそれでいいかと思ったり。2時過ぎに家を出て多摩美に行く。研究室に行く前に[校庭の満開の八重桜](#)を撮影。今日は、「ドキュメンタリー映画論」と「空間表現研究B」のガイダンス授業なので、話すことを考えた。斉藤邦彦君が、先日個展で買った写真を額に入れて持ってきたので、壁に掛けて貰い、額代を払う。6時前に食堂でカレーを食べて、6時から「ドキュメンタリー映画論」。2年生が多い授業で、わたしの授業を初めて聞く学生を相手にするので、しっかり80分ぐらい話した。一旦研究室に戻り、海老塚さんと、今年度から非常勤講師になった川崎義博さんと雑談。7時40分から「空間表現研究B」。こちらは4年生で知った顔なので、それに学生もそろってないので、ざっと20分ぐらいで授業の進め方を話す。研究室に戻る途中、3年生に呼び止められて、大高さんから沖縄に行ったという話を聞く。9時半廻って下校。一昨日忘れたこうもり傘を持って地下鉄で帰宅。先ずリンゴを食べ、サツマイモときんつばを食べて、夕刊を読む。それから仕事場を下りて、4年の中村さんのメールの返事に返事。それから、灰皿町blog日記を書いた。

00:59:46 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-14

「極私的に遂に古稀」のナレーションを録音。

13日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は、組織の中で人が信頼を得る振る舞いについて書いてあって、ロシア革命の歴史的なことに詳しくないと分からないようなことなのかな、という感じのことだった。今日は、ストレッチ体操とシャワー。その間にカボチャを煮て、サツマイモを蒸かす。日録ノート。それから、昨夜書かなかった灰皿町blog日記を書いた。2時過ぎてしまい、麻理がお祖母ちゃんのところに行ったので、一人できつねそばを作って昼食。その後ちょっと仮眠。仕事場に下りて、昨夜作ったFTの学生の選択の人数の表を作り直す。それから、「極私的に遂に古稀」のナレーションに手を入れて、DAT録音機で一人で喋って録音する。最初、調子が出るまで時間が掛かったが、途中、電話と猫に邪魔されたものの、後はすんなりと取れた。終わったのが7時過ぎ、それからプレーンオムレツを作り、ワカメのみそ汁を作って、それに朝煮たかぼちゃの煮物とで一人夕食。夕食を食べ終わったところに麻理が義兄の車で、お祖母ちゃんのところではなくなった布団や扇風機など積んで帰ってきた。義兄さんが帰った後、途中で気分が悪くなったと、電車で別に帰ってきた野々歩と麻理がカボチャの煮物を平らげた。仕事場に下りて、録音したナレーションをPowerBookG4のSoundit!で取り込んだ。録音機でモノラルで取ったのをステレオにするのにアダプターを探すのに時間が掛かった。風呂に入ってから、今度は取り込みのレベル合わせを始め、一度取り込んで、FinalCutのタイムラインに置いて、同録の音や音楽とも合わせてみてレベルを決めた。そうこうしているうちに12時近くになって、灰皿町blog日記を書いた。そういえば、今日は、BlosxomBlogに画像を入れるのを忘れていた。これから、昼間撮った**芍薬の小さな蕾**を入れよう。

01:02:49 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-13

映像演劇学科の「FT(FieldTrial)」の登録。

12日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」の項目は、「芸術の試験についてのキン・イエーの夢」というタイトルで、キン・イエーの夢として「民衆に好意的な政府が、詩人気取りの連中がとめどなく増えてゆくので、この芸術に携わるものを選ぶための厳しい試験を導入することにした。」と書き出されていた。内容は、その試験として、先ず観察力が試され、それを通過した者が今度は短く纏める力が試されて、キン・イエーを含む4人が合格した、というのだった。優れた表現を求め、優れた表現力を持つ者だけが表現を許されるという考え方も知れないが、その夢がキン・イエー自身に取って悪夢なのか、幸福な夢なのかは書いてなかった。しかし、「表現を扱う機関」では常にこういう資格ということが付きまってくる。詩人気取りだろうと、詩を書きたいものは誰でも書きたいように書けばいい、というのがわたしの考えだ。ストレッチ体操はせずに、10時半ごろ小林医院へ行って、診断して血圧を測って貰った後、処方箋を貰って近くの慶応堂薬局に行き、薬の処方ができるまでの間、小田急高架下の文教堂書店に行って、主にコンピュータ関係の本をざっと見る。慶応堂に戻って薬を買い、パルケでカボチャと牛蒡とエンドウと、ブロッコリのスプラウトを買って、それから漢方薬局に行って軟骨にいいというコンドロイチン含有の「SCPゴールド」と視力にいいというブルーベリーエキスの「ルチン」というサプリメントを買い、さらに別の薬局で歯磨きとブラシを買って帰った。それから、昨日、Bコースを一応選択した学生の顔の写真を見る。1時廻って、麻理がきつねそばを作って昼食。食後、ちょっと仮眠。それから仕事場に下りて、日録をノート。4時前に出掛けて、二子玉川で下りて、カツサンドを二人分買ってタクシーで多摩美へ。研究室で、学生の選択シートに書かれている選択理由を読む。56人分は時間が掛かった。海老塚さんが来たので二人でカツサンド

を食べる。6時過ぎから、選択した学生と海老塚さんと二人で面談して、学生たちがやりたいことを聞き、わたしたちのコースでそれが適しているか話し合う。8時半まで殆ど休み無く面談した。その後、学生たちはFTの「A」から「F」まで、「プロデュースコース」または講義の「Studyコース」のいずれかを選択登録する。わたしたちのBコースを最終的に選択して登録した学生は48名だった。9時廻って研究室に戻ると、話したいと言っていた溝際庸一郎君が来て話しをした。10時頃下校、二子玉川で乗り換えるとき、ホームで神谷さんと溝口さんに会い、三軒茶屋まで車内で神谷さんが書いた小説の話しをした。帰宅して、リンゴ、牛乳、角きんつば、サツマイモを食べながら夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、FTの選択登録した学生の、2年生の昨年から3年生の今年になって、コースを変更した者の数を調べてみた。造形またはアニメなどを含む映像、映画、写真、演劇、身体パフォーマンス、プロデュース、スタディなど、コースによって専門性があるが、そこで学生たちが自分の表現の仕方をどう選んで行っているか見る上で参考にする。映画、演劇、写真、身体パフォーマンスなどの専門性のはっきりしたコースを選んだ学生は、2年次から引き続き3年次でも同じコースを選んでいるが、「造形またはアニメなどを含む映像」を幅広くできるわたしたちのBコースを選んだ学生は、2、3年と続ける学生もいるが、3年次で他のコースから移動してきた学生も多かった。映画も、演劇も、身体パフォーマンスも、集団制作することになるが、Bコースでは個人制作ができるので、個人的に映像とか演劇とかにこだわらずに制作したいという学生が集まってきているわけだ。わたしとしては、何が出てくるかわからない彼ら彼女らと付き合うのが面白い。この学生たちの移動数をエクセルで表に作っていたら、2時近くなくなってしまい、灰皿町blog日記を書く時間がなくなって、寝てしまった。

14:16:44 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-12

映像演劇学科の「表現1」「表現2」ガイダンス。

11日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には「概念のカタログ」というタイトルで「自然」「大地」「民衆的」という項目が書かれていた。その「自然」に、自然が生産したもの以外を自然としないというなら「クモにとってクモの巣は自然に属さない。おそらく庭の椅子のほうが自然の一部に属することになる。」という一節があった。なるほど、と思った。ストレッチ体操、シャワー。シアターXの家入さんからメールで「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のスタッフキャストの英訳が送られて来ていた。これは、先日撮ったビデオをダビングするとき入れる。その後、枯れた水仙の花を撮ってBlosxomBlogに入れる。それから、昨夜書いたナレーションを声を出して呼んで、テープを再生した画面に合わせてみて、補うところをチェックした。1時廻って、蕎麦を茹でて、昨日買って来たかき揚げで天ぷら蕎麦にして昼食。仮眠しながら、再放ドラマ「おみやさん」を見る。眠ってしまい、事件の発端と集結の場面だけ見た。3時過ぎに雨の中、出掛ける。二子玉川で下りて駅のスーパーでおにぎりを海老塚さんの分と自分の分を合わせて6個買う。タクシーで多摩美上野毛キャンパスへ。研究室で、わたしが担当のFT・Bコースの年間スケジュールをエクセルで作っていると、5時に来ると言っていた溝際君がバイトの仕事が片づかないの時間に行けないという電話。丁度、出校してきた海老塚耕一さんとおにぎりを食べる。そこへ清水邦夫さんが来て雑談。6時から、FieldTrialと呼んでいる「表現1」「表現2」のガイダンス。7つのコースの担当教員の話をして、学生たちがやりたいコースを選ぶことになっている。わたしは海老塚さんと組んで「Bコース」を担当している。このコースは頭の中に生まれたイメージを、教員と話しながら、楽しんで何らかの形で表現するというコース。学生には人気がある。今日の第一回の選択で56名が選択した。明日、面接して、やりたいことの内容を確かめて、もう一度選択する。9時頃、3年生の津ヶ谷さんが訪ねてきて話しをする。9時半を廻って、今日も加納さんと下校。田園都市線で三軒茶屋まで一緒。帰宅して、リンゴとサツマイモときんつばで夕刊を読む。仕事場に下り

て、選択した学生の名前の表を見て、学生たちの顔を思い浮かべる。それから、灰皿町blog日記を書いた。

01:11:43 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-11

「極私的に遂に古稀」のナレーションを書く。

10日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、哲学者は、「この世界を変革することをも目標に据えるべきである」と書いてあった。ブレヒトの時代では社会主義社会が目標であったが、現在はどういう社会を目標に据えるべきか、改憲の新聞記事を読んでいると、違うなあ、と思いつつも、目標とするべき社会の姿が見えてこない。ストレッチ体操、シャワー。起きたのが遅かったので、それで12時を過ぎてしまった。野々歩に電話して、その後の赤ちゃんの様子を聞く。彼は自分に似てきたと言う。庭に咲いたタンポポの写真を撮って、BlosxomBlogに入れる。それから、昨夜書かなかった灰皿町blog日記を書く。今日は昼食は抜きにする。この前新宿の小田急で買ってきたカボチャと牛蒡を煮る傍ら、サツマイモを蒸かす。5時近く、自転車でパルケに行って、麻理が出掛けたあと一人で食べる夕食用のコロッケを買うついでに、レタス、トマト、イチゴ、ネーブル、リンゴ、角きんつば、インスタントご飯など買ってくる。イチゴを潰して牛乳を入れて食べる。仕事場に下りて、「極私的に遂に古稀」のナレーションを書き始める。シーンに合わせて書いて、テープを再生して読んでみるという書き方をした。7時廻って、長ネギのみそ汁を作り、インスタントご飯を温めて、カボチャの煮物とコロッケを惣菜に一人夕食。その後、ベッドに横になって、NHKアニメと続いて「義経」を見て、また仕事場に戻り、ナレーションを書く。疲れて、居間に行ってリンゴと角きんつば半分とサツマイモを食べる。それから鞆の中を整理したら、卒業パーティで貰った卒制のアニメーションが入ったDVDが出てきたので、それを一通り見た。それから、この灰皿町blog日記を書いた。

00:56:11 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-10

ロネン・シャピロコンサート「愛について」に行った。

9日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「善意」について、「収入に大きな差のある社会秩序のもとでは、善意の称号を獲得するのは難儀でない。ほどほどに正確な見方からすれば、この種の善意は社会的観点からいって重要でないとされるが、ちゃんと正確にみれば、概して、むしろ有害である。」と書かれていた。ブレヒトの「セチュアンの善人」と考え合わせてたいところだ。ストレッチ体操、シャワーのあと、「極私的に遂に古稀」のナレーションを考えるに当たって、既に取ってあったシーンのタイムラップの表をエクセルで作った。1時半近くになって、麻理を急がせて残りもので昼食の支度をして貰い、急いで食べて、半を廻って出掛けた。3時からシアターXで、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の音楽を担当したロネン・シャピロさんのコンサート「愛について」があった。劇中で歌われる歌を吉田日出子さんが歌い、彼がイスラエルの詩人やリルケの詩に作曲した曲を自分でピアノとウードで演奏して歌った。日出子さんは愛犬を連れ来て、その愛犬が彼女が歌っている間中、舞台にいて、その動きがタイミングに合っていて珍しいコンサートになった。5時過ぎに終わると、わたしは、多摩美の映像演劇学科の新学期ガイダンスがあるので、急いでJR両国駅に行き、丁度来た電車に乗って錦糸町に行き、そこから半蔵門線に、これまたタイミングよく来た電車にエスカレータを駆け下りて乗って、田園都市線の二子玉川で大井町線に乗り換えて、上野毛で下りた。もう6時半になっていた。さくら庵で親子丼で夕食。多摩美に行くと、門のところまで3年生の学生に呼び止められ、月曜日に研究室で会う約束をする。それから、3年生と4年生のガイダンスの付き合う。それぞれの学年の学

生の雰囲気や容貌が変わっている。女子は特に一瞬「誰だっけ」と分からなくなる子もいる。変化の激しい年齢なのだ。10時近く、加納さんと下校、3年の福村さんと三軒茶屋まで一緒。わたしと加納さんは、三軒茶屋のお好み焼き屋の「ぶるどっく」で、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のシアターXと映像演劇学科との提携プロジェクトが終わったので、その打ち上げと言うことでビールで乾杯した。加納さんは衣装を担当したが、ルティ・カネルさんのような演出家と出会えることは滅多のないことだと言っていた。わたしは、この提携プロジェクトで積極的な参加はできなかったけれど、演劇のプロフェッショナルな集団の中で、本読みの稽古から舞台稽古、更に通しの稽古、ゲネプロ、本公演を3度見るなどということができたなんて、生まれて初めてのことであり、更に、この時期に東京で上演されているプレヒトの劇を4つ見て、その他の本も読んで、プレヒトについて考えるようになって、つまりプレヒト演劇入門を果たすことにもなったのだった。そういったことを加納さんに報告して、12時過ぎにタクシーで帰宅した。リンゴと牛乳で、夕刊を読み、眠くなって、灰皿町blog日記は書かずに、1時過ぎに寝た。

14:56:52 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-09

多摩美造形表現学部学部入学式。

8日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」には、「自由」というタイトルで「われわれの時代には、別の階級を抑圧し、利用し尽くす支配階級が、ほかならぬこの別の階級に、国民を解放してやろう、つまり他の諸国民を抑圧し、利用し尽くす自分らの自由を手にいれよう、と呼びかけている。」という一節があった。とても、1930年代に書かれた言葉とは思えない。イラク戦争を思い合わせてしまう。トイレの後、髭を剃って、着替えてから日録を書いて、9時過ぎに出掛ける。上原公園の桜は満開。二子玉川に着くまで昨夜、詩集と交換して山本健翔さんから貰った「俳優になるには」という本を読む。最初に円演劇研究所で同期生だったという渡辺謙のことが書いてあった。上野毛で下りて多摩美の上野毛キャンパスへ。10時半にフィルム編集室を使いたいという新4年生の井上さん、福村さん、佃さんのために鍵を開ける。11時から講堂で入学式。教員の集団の後方に席を取って偉い先生方の祝辞やらの時は半ば眠っていた。向こうの席の教員も眠っていた、いや、目をつぶっていただけかも。終わって、新入生が事務や共通学科のガイダンスを受けている間、図書館3階の会議室で紅白のおこわの弁当を食べて、1時から4時前まで映像演劇学科の会議。4時過ぎから新入生に映像演劇学科のガイダンス。教務主任の加納さんが新入生の名前を一人一人読んで、立って顔見せ。入試で面接した子の顔を確かめる。それから、教員紹介。そして専門科目の履修の仕方のガイダンス。5時過ぎに終わる。新入生の疲れ切った顔。男子も女子も、リクルースタイルが大学生の制服になったという感じ。フリーな服の子は75人中7、8人しかいない。3、4年前からこの傾向が出てきた。その前は、茶髪や派手な服装の子が多かったのだが。全部終わって、研究室で4年生の成績表を見て、単位が十分に取れていない学生をチェック。そして、ルティ・カネルさんが「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の演出を始める前に最初に話していたことのノートをパソコンで整理する。6時廻って、フィルム編集室の3人に声を掛けて、鍵を閉めて、駅前の鰻を食べさせる店に誘う。福村さんは九州から東京に出てきて5年目で初めて東京の鰻屋で鰻を食べると言っていた。それから、田園都市線で三軒茶屋まで一緒。帰宅して、リンゴを食べながら夕刊を読む。麻理にDVカメラでメモリスティックに静止画を撮るやり方を教えて、画像をパソコンに移す。居間の椅子でどうとうとする。牛乳を飲んで、それから、仕事場に下りて、灰皿町blog日記を書いた。

00:02:38 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-08

「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の舞台をDVカメラで撮影。

7日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は先人の評価の仕方について、ややこしくてちょっと分からない。ストレッチ体操とシャワー。詩「極私的ラディカリズム」に手をれ、プロフィールを書いて、「ミドナイトプレス」にメールで送る。その後、長ネギとあぶらげの蕎麦。眠くなってちょっと仮眠。それから、「極私的に遂に古稀」のテープを流してナレーションを考えた。まだスーパーインポーズを入れた方がいいところがあったので、それを入れる。もう一度テープに書き出したら、5時になって出掛ける。新宿からJR総武線で両国に行く。車内でドアのところにおいて、電車が止まり、別のドアから乗ってきた女性のところに歩いて行って話しかけ、ちょっと話してまた元いた場所に戻る若い男がいた。電車が止まるたびにそれを繰り返す。何を話しているのか不審に思った。わたしは両国で下り、蕎麦屋の「凌雲」で天井を食べて、6時半までに15分あったのでデニースでコーヒーを飲んだ。それからシアターXへ。「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の最終日。前回にルティ・カネルさんからビデオに撮ってと頼まれたので、一番前の一番端の席B-1を取って貰って、ハンディカメラで撮影した。今日は舞台の前に2列の座布団の補助席を作るほどの満席。わたしは、殆ど舞台を直に見ないでカメラのモニターを見続けたので、最後には目が霞んできた。公演が終わって、10時過ぎからロビーで[打ち上げパーティー](#)。シアターXの劇場プロデューサーの上田美佐子さんが挨拶して乾杯。わたしは、上田さん、俳優の長畑豊さん、三谷昇さん、衣装の加納豊美さんなどと話しをした。吉田日出子さんにも感想を述べた。また、多摩美の高味さんとも話した。11時過ぎてわたしは劇場を出て、両国からお茶の水で乗り換えて地下鉄で帰宅した。公園の夜桜をデジカメで撮った。家について、リンゴと牛乳とサツマイモを口にして、夕刊に目を通す。オームの一人に死刑判決。仕事場を下りて、撮影したテープがちゃんと写っているかモニターして、ラベルを貼ってから、灰皿町blog日記を書いた。

02:00:50 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-07

「Sound it! 4.0 for Macintosh」を買ってくる。

6日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は「ブルジョワ世界の国民議会」というタイトルで、「国民議会は、おおいなる虚偽である、とメ・ティはいった。」と書き始められている。「国民会議」は各生産現場の者が代表者になっていないというのだ。そういわれると、日本の国会も「代表」ということではきわめて曖昧だな、と思った。利害と理念と人物のイメージが並べられていて、何を代表しているのか見えない。ストレッチ体操とシャワー。2日分の日録を書く。麻理がアスパラとこんにゃくとあぶらげと長ネギの入った蕎麦を作って昼食。アスパラ入りの蕎麦は初めてだった。食後、薄い掛け布団とシーツの洗濯を手伝う。それから、枯れてきたスパティフィラムの鉢を外に出して、枯れた葉を取って植え替える。[牡丹の蕾](#)が出てきたので鉢の置き場所を変えた。日向が暖かくて、鉢の植え替えで汗をかいでシャツを取り替える。それから、「ミドナイトプレス」から頼まれた詩を書く。「極私的ラディカリズム」というタイトル。何のことはない、焦がした鍋底をこすっているという内容。眠くなってちょっと仮眠。4時前に家を出て新宿のヨドバシカメラへ「Sound it!」を買いに行く。道を歩いていると、春の午後という感じだ。ヨドバシカメラで「Sound it!」のバージョン4.0を買って、miniDVテープ20本とVHSテープの10本パックを買い、ついでにCybershot DSC-M1用のMemoryStickProDuo 512MBを買い、電気カミソリの刃を買った。ちょっと疲れて、西口地下の「アマーテ」でコーヒーを飲む。それから、もう買い物ついでで、小田急デパートでパンツを買い、地下に下りて草餅と桜餅を買い、夕食の惣菜に鯖の味噌煮と子持ちカレイと銀鮭の塩焼きを買い、カボチャの煮物と竹の子の煮物を買って、五目おこわと栗おこわを買い、ロースハムを300グラム、冷凍庫に入れるために100グラムずつに分け買って買い、更にカボチャと牛蒡とグリーンピースとレタスを買って、タクシーで帰宅した。この前に気が付いたけど、井の頭通りの幡ヶ谷と上原の間に信号が一つ増えた、ということは、元の代々木高校が現在上原中学の

校舎として使われているので、その近くに横断歩道の一つ増やしたということかと思った。桜餅を食べてお茶を飲み、夕刊を見る。そして、7時過ぎに買ってきた惣菜で麻理と夕食。食後眠くなって、ベッドで居眠りしながら巨人横浜戦の中継を横目で見ると、9時頃仕事場に下りて、「Sound it! 4.0 for Macintosh」をインストールして音声の取り込みと保存のテストに成功。「3.0」で保存ができなかったのは、「お試し版」だったからかと思った。メールが来た今井義行君のHPを見て返事。木村さんからのメールに、ブレヒトのことを書いて返事にする。その後、風呂に入って、リンゴと牛乳と草餅。仕事場に戻って、灰皿町blog日記を書いた。

01:38:01 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-06

「Sound it!」で録音のテストの失敗。

5日のトイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は、「ニー・エン」ことスターリンの個人崇拜についてだった。その崇拜の仕方には疑問があるが、彼は役に立つ人物だと、ブレヒトは言っているように受け止められた。ストレッチ体操とシャワーはいつもの通り。「極私的に遂に古稀」のナレーションを取らなければと、DATの録音機で取った声をPowerBookG4に取り込むテストをやってみた。「Sound it!」で取り込みはできたが、それを保存すると、「読み込みに失敗しました」となって保存できない。???である。何度繰り返しても駄目。そのうち時間が経って2時を廻ってしまった。今日は多摩美に行く日なので、蕎麦を茹でたりする時間はない。インスタントのおかゆがあったので、それをレンジで温めて食べて昼食。直ぐ出掛ける。駅に行く途中で[公園の桜](#)を撮った。4時から新年度の初の教授会。新任の教員や助手副手が紹介されて挨拶。入学者の人数も報告される。映像演劇は75名。教授会の後、映像演劇学科の常勤の教員と非常勤講師との顔合わせの会議。福島学科長の挨拶の後、非常勤講師に学科の控え室やコピーことなど、教務主任の加納さんがいろいろと説明。今年度から来ることになった大津幸四郎さんとは久しぶりの再会だった。大津さんからはロケに行ったイスラエルのことを聞いた。それから、二子玉川の高島屋の7階の中華料理店で、共通学科と合同で教員と非常勤講師との懇親会。9時頃終わって、わたしは海老塚さん、石井さん、樋口さん、山田さんと、それに後から来た木村さんと、海老塚さん行きつけの飲み屋で2次会。12時過ぎに散会して、タクシーで帰宅。リンゴ、牛乳、サツマイモで、夕刊を読む。仕事場を下りて、「Sound it」を再インストールしようとしたが、CDが見つからない。もう一度取り込みを試みた失敗だった。それで、2時を廻って、灰皿町blog日記を書いた。

02:51:48 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-05

「母アンナ・フィアリングとその子供たち」を再び見る。

4日の朝トイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は「大秩序と愛」「大秩序を実現すること」という項目で書かれていた。「大秩序の導入は、反対者らが暴力を用いてそれに敵対するのであるのだから、人民の大多数によって行使される一種の暴力行為にほかならないが、その建設は、しかし、ながいひとつのプロセスであり、またひとつの生産行為なのである。」というから、これは革命によって実現される社会主義社会のことと思われる。これに弁証法を合わせて考えると、社会主義社会も一つの過程にしか過ぎず、その次があるということになる。それが革命を経て、更に現在のロシアであり中国なのだろうか、そして弁証法的ではそれも一つの過程ということになると、その次があり、究極の「大秩序」というのがあるのだろうか、つい思ってしまう。国家というのも過程なのだろうか。国家もなくなれば、戦争もなく、民族差別もない、みな平等に愛に満ちた社会というのが到来するのだろうか。それも過程の一つだとしたらその先はどうなのか、と空想に落ちた。ブレヒトは現



実に根ざした理想主義者であったということ。わたしは直ぐに空想に走る。トイレの後、ストレッチ体操、シャワー、仕事場を下りて日録をノートして、「極私的に遂に古稀」に音楽を付けるテスト。見木久ヲ君が作った曲を「Peak」で開いて、その部分的をファイルに作りタイムラインに乗せてみる。タイトルに付けてみてメインタイトルが短すぎると気が付き引き伸ばす。それをしたら、スーパーインポーズの位置がずれて、置き直してすべてレンダリングすることになった。途中で、麻理にバターライスを作って貰って昼食。それから、シーンを表にする。その辺りで5時近くなり、BlosxomBlogに[咲かなかったチューリップ](#)の画像を入れ、シアターXに行く支度。この季節は、寒いか暖いかで着て行くものに悩む。茶色のコートの上着の下にスポーツシャツだけで出掛けたら、風が寒かった。代々木上原の駅で千代田線に乗るつもりだったが、小田急の急行が先に着たので飛び乗って、新宿乗り換えで両国まで切符を買ってしまったが、途中、時間に余裕があったので、秋葉原で下りてDVテープを買った。店の親父に1万円札を出しておつりを貰おうとしたら、ちゅっと待ってね、と言いつつ札を持って店を出て行ってなかなか戻ってこないの、持ち逃げされたのかなあ、と若い店員に冗談を言っていたら戻ってきた。今まで見たことのない薄ピンクと薄い空色と黄色の3本パック。1575円だった。両国に着いて、「凌雲」で天ぷら蕎麦。それからシアターXへ。ロビーで明日帰国するというルティ・カネルさんに会ったので、そこでわたしの詩集「胡桃ポイント」を進呈した。演出助手の渡辺さつきさんに通訳して貰ったら、前に手渡したわたしの英訳の詩の「[A SPIN AROUND TOWN ON MY BICYCLE](#)」が気に入ったと言ってくれた。「母アンナとその子供たち」を一番前の一番下手のB-1の席で見る。この前は上手の真ん中辺りだった。アンナの口のきけない娘が屋根に登って、寝ている町の人たちに太鼓を叩いて敵の襲撃を知らせるが、撃たれて死んでしまうというシーンでぐっと訴えてくるものがあった。後ろの席の人は涙ぐんでいたのかな。今夜は、カーテンコールで、吉田日出子さんの呼ばれてルティ・カネルさんも舞台の登って挨拶した。帰りは、お茶の水で地下鉄に乗り換えた。リンゴ、牛乳、サツマイモ、煎餅で夕刊を読む。それから仕事場を下りて、灰皿町blog日記を書いた。

00:57:00 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-04

「極私的に遂に古稀」の最終編集に取りかかる。

3日、トイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」は、三つ目の「大方法」。この項は第一次大戦の時、ドイツの労働者の党が愛国心で戦争に賛成してしまったことが書かれていた。そして次が「大秩序」という項目。ストレッチ体操、シャワー。麻理のパソコン用のプリンタの目詰まりをチェックなどしていたら1時過ぎて、椎茸と長ネギの煮込み蕎麦で昼食。それから、白滝抜き肉じゃがを煮る。BlosxomBlogに[水仙の花のアップ](#)。そして、「極私的に遂に古稀」の仕上げの最終的な編集に取りかかり、画面に挿入する言葉を入れる。7時頃麻理が帰ってきて、みそ汁など作って夕食。その後NHKのアニメから「義経」、Nスペ、スポーツニュースとベッドに寝転がって仮眠しながら見てしまう。仕事場を下りて、「遊びの会」のHPを麻理が修正できるように、彼女のパソコンにFTPソフトを入れて接続の仕方を教える。それと、Wordで修正するテスト。その後、ビデオの編集の続き、見木久ヲ君が作ってくれた音楽を聴く。居間に行ってリンゴ、牛乳、桜餅、サツマイモ。仕事場に戻って、灰皿町Blog日記。

01:31:09 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-03

イメージフォーラム附属映像研究所の第29期Bクラスの開講式。

2日の朝トイレで読んだ「転換の書 メ・ティ」はもう一つ「大方法」。ストレッ

チ体操、シャワー。BlosxomBlogに[水仙の花](#)。1時半頃かけそばで昼食。2時頃家を出て、井の頭通りでタクシーを拾って、新宿2丁目まで行き、靖国通りを渡って「Comtemporary Photo Gallery」へ行く。映像演劇学科4年の「斉藤邦彦展2」を見る。印画紙にマジックインキを塗ってそのまま現像すると、塗ったマジックがひび割れて剥げて細かくて美しい線を描く、という作品。線が描く図柄が本当に美しい。作品を買うというと、1点1000円でいいというので趣の違う作品をそれぞれ1点、合わせて2点買って、現金で払い、後で額に入れて来てくれれば、その額縁代はその時払うといい、小さな作品をおまけに付けて貰う。そこに、卒業した角南君が来て、わたしが1000円で買ったと聞いて、大きいのを1点買った。斉藤君としばらく話して、3時過ぎて、タクシーで明治道路を澁谷に出て、金王坂上まで行き、イメージフォーラム付属映像研究所の第29期の開講式に行く。4時半から金井さん、西嶋さん、池田さんとわたしが専任講師として出席してのBクラスの開講式。Aクラスは奥山さんたちが昼間開講式を終わらせている。開講式は、講師がそれぞれ話しをした後、今年は受講生一人一人に「☆現実に出会った忘れられないエピソード、☆忘れられない夢、☆忘れられない映画に1シーン」を自己紹介するとき話して貰った。いろいろと出て面白かった。講師も同じテーマで話した。わたしは東京大空襲で逃げたこと、埼玉の疎開先で米艦載機に機銃掃射を受けたことなど話した。それから休憩となり、金井さんと近くの「青山カレー倶楽部」でわたしはビーフカレーを食べた。休憩後、一人の受講生の前に作った作品を上映して講師がそれぞれ感想を述べた。それから、講師と受講生とそろって宮益坂裏の「West」に行きコンパとなり、11時過ぎまで懇談して、わたしは駅前からタクシーで帰宅した。リンゴ、牛乳、桜餅とサツマイモ一切れで夕刊を読んで、仕事場に下りてこの灰皿町blog日記を書いた。

01:26:43 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-02

「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の公演初日を麻理と見る。

1日は、トイレで「転換の書 メ・ティ」の「大方法」を再読。弁証法のことをロシア革命時の「農民」の意味合いが革命のステージで変わっていくことを例に書かれている。ストレッチ体操の後、風呂に入る。それからついでに風呂桶を洗う。その後野々歩が来て、赤ちゃんの名前についていろいろと話し合う。椎茸と長ネギのかけそばで、麻理と野々歩と昼食。[昨日両国で撮った桜](#)をBlosxomBlogに入れる。それから、「肝玉おっ母とその子供たち」の昨日読んだ続きを読む。5時になって、麻理と一緒にシアターXへ、「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の公演を見るために出掛ける。代々木上原から千代田線でお茶の水で乗り換えて両国へ。麻理は先日手伝った語学教授法「PDL」の話をしてくれた。両国について「デニーズ」で麻理はおかゆ、わたしは和風ステーキ定食で夕食。麻理は食べ終わって、わたしが食べ終わるまでの数分で折り紙の小箱を作る。いつも色紙を持って歩いていて、電車の中でも折っているという。その後、シアターXの座席に座って開演前の数分でまた一つ折ってしまう。初日公演は補助席が出る程の満席だった。舞台も力が入って、素晴らしく感動的だった。戦争と個人の関係が鮮明に描き出されている。襟を直すとか、傷の手当てをすとか、母親が子供に対してする細かい仕草が印象的だった。また、大道具小道具に使われる数多くのトランクがシーンごとで、カラスの羽根になったり、オオカミの開いた口になったり、ジョッキになったり、ブランデーの瓶になったり、銃になったり、オブジェとして意味が変わっていくのも面白かった。ブレヒトが創造した「人民という存在」の強い骨格が感動を呼ぶのだと思った。終わって、ロビーで初日の乾杯があるから残ってといわれて、わたしは残ったが麻理は先に帰った。配られたビールの紙コップを手に、ロビーで加納さんや長畑さんと話し、ルティ・カネルさんに素晴らしかったと伝えた。山本健翔さんと少し長く話した。その内に、客席入り口の高くなったところにイスラエルから来たルティ・カネルさん、美術家のロニ・トレンさん、音楽担当のロネン・シャピラさん、吉田日出子さん、三谷昇さんが上がって、若い人々から

花束が贈られ、イスラエルの人たちには日本のお土産が贈られた。それから、トレンさんは3日に、カネルさんは5日帰国するというので、3人の人たちが挨拶をした。10時過ぎに散会。わたしはまたお茶の水乗り換えで地下鉄で帰宅した。電車の中で、また歩きながら、先ほど見た舞台の流れを反芻した。帰宅して、リンゴ、牛乳、サツマイモ、角きんつば半分を口にしながら夕刊を読み、テレビのスポーツニュースでセントラルリーグの開幕試合の結果を見た。巨人が広島に負けた。楽天が16点という大量得点で勝った。そして仕事場を下りて灰皿町blog日記を書く。

01:41:53 - shirouyasu - No comments

## 2005-04-01

「母アンナ・フィアリングとその子供たち」のゲネプロを見る。

31日は、トイレで「転換の書 メ・ティ」の「偉大な方法」を半分読む。ストレッチ体操とシャワー。[昨日アップした「曲腰徒歩新聞」](#)を読み返していると、野々歩が麻理が描いた絵本を返しに来る。わたしは、1時頃家を出て、両国へ。駅の東口から下りて蕎麦屋の「凌雲」へ行く途中で桜が咲いているのに出会う。Cybershot DSC-M1で撮影。「凌雲」でざる蕎麦を食べてシアターXへ。3時からプレビューということだったが、それが中止になって、細部の詰め稽古をしていた。5時頃までそれを見る。ゲネプロは7時からなので、久し振りに秋葉原に行く。駅の改札が変わってしまっているのに驚く。以前歩いたパソコンショップの一部を巡ったが、マザーボードもCPUも縁遠いものになったと実感。ラジオセンターの狭いところを抜けて、昭和通り沿いの「書泉」に行き、行ったことのない7階の文庫売り場まで上がって、岩波文庫の「肝っ玉おっ母とその子供たち」を買う。電気街で「肝っ玉おっ母」を買うという思いつきに、一人で嬉しがる。JRでまた両国に戻り、トンカツ屋でヒレカツ定食を食べて、シアターXへ。7時からのゲネプロを見た。2月から稽古を飛び飛びに見てきて、ゲネプロに到達した。明日は本番だ。初日も見に行くことにしている。9時半頃終わって帰宅につく。帰りは、お茶の水でJRから東京メトロに乗り換えて、地下鉄の車内で「肝っ玉おっ母とその子供たち」を読む。ルティ・カネルさんの「母アンナ・フィアリングとその子供たち」の台本は原作から独自の構成をしているので、その違いが分かって面白い。パート2の途中まで読んだところで代々木上原に着く。帰宅して、リンゴと牛乳と大福。仕事場を下りてメールを開くと、木村和代さんからの他に、淵上熊太郎さんから彼のHPへのリンクが違っているというメールが来ていた。わたしのHPのリンクのページを見ると、かなりのリンクが接続できなくなっているのを直して、「土本展」の注釈の校正をメールで送って、灰皿町blog日記。

01:01:21 - shirouyasu - No comments